



内藤 とし子 議員

### 2014年の予算編成と市民要望の具体化について

**問** 歳入見通しと市独自の財源確保はどのような検討がされているのか。

**答** 財政繰入金や繰越金を入れ歳入見通しは132億円。そのうち市税が81億円。個人市民税は現年課税分26億6100万円、法人市民税現年課税分6億2500万円、固定資産税35億9300万円、都市計画税7億3200万円の予定です。

**問** 法人市民税は資本金10億円を超える企業の不均一超過課税を実施する考えは。新たな財源確保についてはどうか。

**答** 企業が市外や海外に出て行かないように永続することが目的であり標準課税で行っていく。市税収入の確保、徴収金の収納率の向上、受益者負担の適正化など中期財政計画に沿って進めて行く。

**問** 保育園の待機児について、1歳児は人が入れないと聞か

今後どのような対策をとるのか。公立午後6時まで民間午後7時までと差があるが同じように7時までにはできないか。

**答** 入れなかつた方で4月までに入るのをやめる方も出てくる。市域をひとつに考えており、入れるところに申し込んでもらう。1人のために費用もかかるので公立を7時までにするのはできない。

**問** 強制を伴う町内会の輪番制の資源ごみの分別立ち番をやめ、シルバーに委託せよ。アンケートをとってはどうか。シルバー委託するといくらかかるのか。

**答** アンケートについてはごみ処理基本計画の見直しにあわせてアンケートをとる予定。シルバーに委託すると5000から6000万円かかる予定。

**問** 道路整備について、刈谷碧南線の県道で吉浜神明社付近は急カーブで一部歩道もない。整備するよう県に申し入れる考えは。

**答** 他からも要望を聞いている。歩道設置には都市計画の認可をとらなければならずその後県に整備してもらおう段取りです。県に要望します。



### 福祉行政について



黒川 美克 議員

**問** 生涯現役のまちづくり事業の今までの推進体制と進捗状況について。

**答** 平成23年10月に「生涯現役のまちづくり調査研究委員会」を総勢40名で立ち上げ、夢のみずうみ村代表の藤原茂先生をお迎えし、平成25年10月まで、約2年間調査研究を実施しました。初年度は、夢のみずうみ村の現地調査、介護予防・健康増進プログラム の考案、地域資源の活用等について議論を行ない、昨年度は、高齢者ニーズ調査を実施し、3グループに分けて議論されました。今年度は、地域の住民と触れ合うことができる場所を「健康自生地」と呼ぶこととし、9月から毎月1回、認定審査会を開催し、21か所を認定しています。

**問** 今後の推進体制と取り組み方について。

**答** 新たに「生涯現役のまちづくり実行委員会」を39名で立ち

上げ、「健康自生地盛り上げチーム」と「課題解決チーム」に分けて活動し、課題解決にあたり、次年度以降の事業展開については、健康自生地を市内全域に数多く創出できるように、地域の商店や企業に働きかけ、多くの高齢者の方が自宅に閉じこもらず、健康自生地を巡ることができるよう工夫していきます。

### 行政組織について

**問** 現在の行政組織の考え方について。

**答** 平成16年5月に、「高浜市構造改革推進検討委員会」を組織し、平成17年度から、庁内に「構造改革プロジェクトチーム」を立ち上げ、平成18年4月に行政組織・機構の全面的な改革を実施し、平成24年4月現在の市長部局の体制は、6部20グループとなっています。

部局ごとの業務の質と量を見極め、常に効率的で効果的な人員配置をしており、グループごとの業務の繁閑により、部長のマネジメントで柔軟な職員配置ができる環境が整備されており、市民のニーズに応えられるよう、今後も組織改編と適正な人員配置を実施していきます。